

# 清新中学校だより 清風

令和5年3月1日  
第205号

## いくつもの視点をもつ

校長 江戸谷 智章

清新中学校に赴任した3年前、この間、世界中の誰もが経験したことない新型コロナウイルスへの対応を余儀なくされ、学校は休校や度重なる分散登校をはじめ、学校行事の中止や日常行われる授業への制限など、当たり前に行われていた教育活動の多くを見直さねばならなくなりました。これは学校現場のみならず日々の生活においても同様のことであったかと思えます。

そう考えるとこの3年間は、様々な不安や心配事を前に、足を前に踏み出すべきかそれとも留まるべきかをひたすら悩み続けた3年間であり、そしてまた同時に、右か左かの二者択一の答えしか導き出せなかった時に、その中間にこそ答えがあるのではと視点を変え探求していくことの大切さを気づかせてくれた3年間でもあったように思います。

思考の深さ、視野の広さに関連して、アメリカのある大学でとても興味深い授業が行われていたことを知りました。この場をかりて、皆さんと思考をめぐらせてみたいと思います。

その授業では、学生たちに次のような課題が与えられたといえます。それは、「クラスを14のチームに分け、各チームに5ドルの入った封筒が渡されます。それぞれのチームは、封筒を開けた瞬間から2時間以内に、この5ドルをどうにかして増やしていかねばなりません。計画を練る時間はいくら使ってもかまいませんが、4日後の授業までに、実際にどんなことをしてお金を増やしたのかを一枚のスライドにまとめ、3分間で報告しなくてはなりません」というものでした。

大方の予想どおり、「ラスベガスでかけごとをする」、「宝くじを買う」といった運まかせでお金を増やそうとしたチームがありましたが結果は言わずもがなでした。また、あるチームはこの5ドルを資金源にして道具や材料をそろえて、「洗車サービスをする」、「レモネード・スタンドを開く」、「人気のレストランで食事をする時にお客さんが並ばなくていいように、事前に並んで座席をキープする」など商品やサービスを提供してお金を増やそうとしたチームもありました。しかしこれらの対応はどれもありきたりで、儲（もう）けの大小はあっても画期的な方法とまでは言えなかったようです。

実はこの授業で、資金の130倍もの大金（650ドル）を生み出したチームがありました。しかも事前に渡された5ドルには全く手をつけることがなかったというのも驚きです。

では一体何をしたかという、このチームは自分たちに与えられた資源は何なのかを改めて見直したといえます。実はこの発想こそが思考の幅を広げられるか否かのポイントとなるのです。普通の人は、手元の5ドルを資源と考えます。けれどこのチームは、課題の報告を行う3分間こそが貴重な資源であると視点を変えるのです。どうしたかという、ある会社を宣伝するために3分間のコマーシャルを制作し、それを会社に買い取ってもらい、仕事を探している学生たちに上映したというのです。

一つの「視点」しか持てない人と複数の「視点」を持てる人とは、おのずと導き出せる答えにも差が出ていくのは言うまでもありません。これからの時代は既成概念や俗にいう常識だけをより所にしては、新たな可能性に気づくことはないのかも知れません。そのためには、身近な出来事一つ一つに興味や疑問を持ち、知識や経験の幅を広げ、自由に視点を変えられる資質を身につけていかねばならないようにも思うのです。ネットやテレビで流れている情報も、すでにいくつものフィルターがかけられ、事実はゆがめられていること

も少なくありません。そう考えると、これからの教育の果たす役割はきわめて大きく、もっと生徒たちの自由な発想やアイデア、さらには感性を広げていける場となるよう、身のまわりの大人たち自身も新たな価値を生み出すために、視野を広げていかななくてはならないのかも知れません。

令和4年度の「清新中学校だより」も最終号となりました。いよいよ今月8日には第50回卒業証書授与式が挙行されます。これまでこの清新中学校の顔となって支えてくれた3年生一人ひとりに、感謝の思いと新たな社会での活躍を祈り、卒業証書を手渡したいと思っています。

(注)『20歳のときに知っておきたかったこと』ティナ・シーリグ著、高遠裕子訳 CCCメディアハウスから一部抜粋



# 無駄なことは一つもない

副校長 石井 紀子

「今年は3年ぶりに実家で年を越す予定です」と恩師宛の年賀状に書いたところ、先生から電話が来ました。中2の担任、体操部の顧問、保健体育の先生・・・私にとってとても関わりの深い先生で、結婚式にも遠くから来ていただきました。「実家にいるなら会いたいと思って」と連絡をくださいました。先生から電話をいただいたのが実家を出た後だったためお会いすることはできませんでしたが、懐かしい話に花が咲きました。これまで私が出した年賀状を取っておいてくださっているとのこと・・・先生は、私が自分と同じ中学校の保健体育の教員になったことをとても喜んでくれていました。中2は私の人生の中で自分自身一番混乱していた時代で、先生を困らせたこともありました。今思うと恥ずかしいこともたくさんしてかしました。先生は私のことを当時は名字で呼んでいましたが、今は「のりちゃん」と呼んでくれて、全部ひっくるめて長い間温かい目で見続けてくださっている人が存在すると言うことに、心から感謝したお正月でした。先生は81歳になったとのこと、変わらぬ元気なお声が聞けて、「のりちゃんしっかりやれよ！」と気合いを入れていただいた気がしました。3学期も頑張るぞとエネルギーがわきました。



もし、今の私があ頃の自分にアドバイスできるとしたら、「40年後は、今のあなたが想像できないような世界になっているよ。『今やっていることは将来役立つのか?』』と思っているかもしれないけれど、無駄なことは一つもない。様々な経験をする中で、『あの時のことがあったから今の自分がある』と思える日が来るはず。だからやる前から自分にはどうせできないと思わずに、いろいろなことに挑戦して欲しい。そして、もしうまくいかなくてもくじけず、もうひとふんばりしてみたい。それから、自分のことばかりでなく、もっと周りをみてごらん。自分のことで精一杯かもしれないけれど、家族、友人、先生、地域の方がどれだけ支えてくれていたか気づけるはず。周りの人の存在の有り難さに気づけたら、きっともっと豊かな人生になるよ。」と伝えたいです。



3年生の皆さん、清新中学校での生活はいかがでしたか。感染症対策を講じながらの3年間でしたが、この3年間身につけようとして意識してきた「深く考える力、思いや考えを行動にする力、自分に負けない力」はこれから皆さんが生きていく上で必ずあなたを助けてくれるはず。今から40年後の世の中はどうなっているのか、さらに想像が付きませんが、その世界で皆さんが生き生きと活躍している姿がはっきりと目に浮かびます。

またいつか、元気な姿で会いましょう！

## 3・4月の主な日程

※下記の日程につきましては、今後変更が予想されます。ご了承ください。

### 3月 ※月・木は原則諸活動なし

- 2日(木) 卒業式予行  
定通分割・二次募集出願～3日  
3年生光明学園高校和太鼓公演
- 6日(月) 国際級おはなし会  
定通分割・二次志願変更～7日  
3年生お別れ会
- 7日(火) 卒業式前日準備
- 8日(水) 第50回卒業証書授与式
- 9日(木) 二次募集学力検査等
- 10日(金) 定通分割共通検査等～13日
- 14日(火) ときわぎ級新生保護者説明会
- 15日(水) 2年生スポーツ大会  
二次募集合格発表
- 16日(木) 2年生修学旅行事前保護者説明会
- 17日(金) 1年生合唱発表会  
定通分割合格発表
- 21日(火) 春分の日
- 22日(水) 定通二次募集～23日

- 23日(木) 大掃除
- 24日(火) 3学期修了式・離任式  
定通二次志願変更
- 25日(水) 春休み～4月6日
- 27日(月) 定時二次面接または作文
- 29日(水) 定通二次合格発表
- 4月
- 3日(月) 諸活動なし～5日
- 7日(金) 第53回始業式・着任式・入学式
- 10日(月) 教科書配付 生徒会OT  
弁当持参～13日
- 14日(金) デリバリー給食開始  
生徒個人写真撮影
- 18日(火) 全国学力学習状況調査(3年)  
学習診断試験(1・2年)
- 20日(木) 3年・ときわぎ級授業参観  
・保護者会・懇談会
- 21日(金) 1年授業参観・保護者会・懇談会
- 27日(木) 2年授業参観・保護者会・懇談会

